

**散剤分包紙印字サービスの診療科を拡大しました**

入院患者さんを対象に実施している散剤分包紙印字サービスを、6月6日から1-4西病棟、6月7日から2-4病棟にも拡大しました。この印字サービスに関する問い合わせは、調剤室 (Tel:2669) まで。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 279**★妊娠と薬情報センター事業について**

厚生労働省では、平成17年10月から国立成育医療研究センターに「妊娠と薬情報センター」を設置し、相談業務及び調査業務を実施している。平成23年度に新たに4病院の協力を得て体制を強化したので、本事業の概要、現状について併せて紹介する。

★レナリドミド水和物の安全対策について

レナリドミド水和物は、デキサメタゾンとの併用において「再発又は難治性の多発性骨髄腫」の効能効果で、平成22年6月に承認され、次いで平成22年8月に「5番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群」の効能・効果が追加承認された。

本剤の市販直後調査期間中（平成22年7月20日から平成23年2月19日まで）に、感染症及び肝機能障害に関する副作用報告が多数集積された。また平成23年1月に、欧州添付文書に脳梗塞等の動脈血栓塞栓症が追記された。

これらの状況を踏まえ、本剤による感染症、肝機能障害、脳梗塞に係る安全対策を検討したので、その内容等について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介します。

◎アリピプラゾール(商品名:エビリファイ錠 3mg・6mg・12mg、同散 1%、同内用液 0.1%) <抗精神病薬>**【重要な基本的注意】**

低血糖があらわれることがあるので、本剤投与中は、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状に注意、血糖値の測定等の十分な観察。高血糖症状（口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感等）、低血糖症状（脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等）に注意し、症状があらわれた場合は、直ちに投与を中断し、医師の診察を受けるよう、指導。

【重大な副作用】

低血糖：脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状が認められた場合には、投与中止、適切な処置。

【妊婦、産婦、授乳婦等への投与】

妊娠後期に抗精神病薬が投与されている場合、新生児に哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性等の離脱症状や錐体外路症状があらわれたとの報告がある。

※低血糖：1例（うち死亡0例）

※離脱症状、錐体外路障害：4例（うち死亡0例）（平成19年4月1日～平成23年2月9日）

◎乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン（商品名:おたふくかぜ生ワクチン「北里第一三共」、乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」）<ウイルスワクチン類>**【重大な副反応】**

急性散在性脳脊髄炎（ADEM）：通常、2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。本症が疑われる場合には、MRI等で診断、適切な処置。

脳炎・脳症：観察を十分に行い、異常が認められた場合には、MRI等で診断、適切な処置。

※急性散在性脳脊髄炎：4例（うち死亡0例）

※脳炎・脳症：6例（うち死亡0例）（平成19年4月1日～平成22年12月31日）

◎抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(商品名:サイモグロブリン点滴静注用 25mg)〈免疫抑制剤〉(当院未採用)

【重要な基本的注意】

投与初期に発熱、悪寒、呼吸困難、悪心、嘔吐、下痢、頻脈、低血圧、高血圧、倦怠感、発疹、頭痛等があらわれることがあるので、その旨を患者にあらかじめ説明しておくこと。また、重度の infusion associated reaction (サイトカイン放出症候群を含む) があらわれ、重篤な心障害や肺障害(心筋梗塞、急性呼吸窮迫症候群、肺水腫)に至ることがあるので、投与中は患者を厳密に観察。

免疫抑制剤を投与されたB型肝炎ウイルスキャリアの患者において、B型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれることがある。また、HBs抗原陰性の患者において、免疫抑制剤の投与開始後にB型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎を発症した症例が報告されている。また、C型肝炎ウイルスキャリアの患者において、免疫抑制剤の投与開始後にC型肝炎の悪化がみられることがある。肝炎ウイルスキャリアの患者に本剤を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化やC型肝炎の悪化の徴候や症状の発現に注意。

【重大な副作用】

重度の infusion associated reaction (サイトカイン放出症候群を含む) : 重篤な心障害や肺障害(心筋梗塞、急性呼吸窮迫症候群、肺水腫)に至ることがあるので、発熱、悪寒、呼吸困難、悪心、嘔吐、下痢、頻脈、低血圧、高血圧、倦怠感、発疹、頭痛等の異常が認められた場合には投与を中止、適切な処置。

発熱性好中球減少症: 観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。

進行性多巣性白質脳症(PML): 治療期間中及び治療終了後は患者の状態を十分に観察し、意識障害、認知障害、麻痺症状(片麻痺、四肢麻痺)、言語障害等の症状があらわれた場合は、MRIによる画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、投与中止、適切な処置。

BKウイルス腎症: 減量又は投与中止、適切な処置。

感染症(肺炎、敗血症等): 免疫抑制剤を投与されたB型又はC型肝炎ウイルスキャリアの患者において、B型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎やC型肝炎の悪化があらわれることがある。本剤を投与する場合は観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。

※重度の infusion associated reaction 関連: 5例(うち死亡0例)

※発熱性好中球減少症: 4例(うち死亡1例)

※BKウイルス腎症: 1例(うち死亡0例)

(平成20年11月~平成23年2月8日)

◎タクロリムス水和物(商品名:グラセプターカプセル 0.5mg・1mg・5mg, プログラフカプセル 0.5mg・1mg・5mg, 同顆粒 0.2mg・1mg, 同注射液 5mg) 〈免疫抑制剤〉

【重要な基本的注意】

免疫抑制剤を投与されたB型肝炎ウイルスキャリアの患者において、B型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれることがある。また、HBs抗原陰性の患者において、免疫抑制剤の投与開始後にB型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎を発症した症例が報告されている。また、C型肝炎ウイルスキャリアの患者において、免疫抑制剤の投与開始後にC型肝炎の悪化がみられることがある。肝炎ウイルスキャリアの患者に本剤を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化やC型肝炎の悪化の徴候や症状の発現に注意。

【重大な副作用】

赤芽球癆: 定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量・休薬等の適切な処置。

感染症: B型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎やC型肝炎の悪化があらわれることがある。本剤を投与する場合は観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量・休薬、抗生物質の投与等の適切な処置。

※B型又はC型肝炎ウイルスの再活性化: 15例(うち死亡2例)

※赤芽球癆: 3例(うち死亡0例)

(平成19年4月1日~平成23年2月7日)

◎トルバプタン(商品名:サムス力錠 15mg) 〈V₂-受容体拮抗剤〉

【警告】

本剤投与により、急激な水利尿から脱水症状や高ナトリウム血症を来し、意識障害に至った症例が報告されている。

【重要な基本的注意】

血清ナトリウム濃度を投与開始日から1週間程度は毎日測定。

【重大な副作用】

高ナトリウム血症：本剤の水利尿作用により血液濃縮を来し、高ナトリウム血症があらわれることがあり、意識障害を伴うこともある。投与中は、飲水量、尿量、血清ナトリウム濃度及び口渇、脱水等の症状の十分な観察。口渇感の持続、脱水等の症状がみられた場合には、本剤の投与を減量又は中止、症状に応じて、輸液を含めた水分補給等の適切な処置。また、正常域を超える血清ナトリウム濃度の上昇がみられた場合には、直ちに本剤の投与中止、症状に応じて、輸液を含めた水分補給等の適切な処置。

※高ナトリウム血症：7例（うち死亡1例）（平成22年12月～平成23年3月4日）

◎ピオグリタゾン塩酸塩、ピオグリタゾン塩酸塩・グリメピリド、ピオグリタゾン塩酸塩・メトホルミン塩酸塩

（商品名：アクトス錠 15・30 mg、同 OD 錠 15・30mg、ソニアス配合錠 LD、同配合錠 HD、メタクト配合錠 LD、同配合錠 HD）＜インスリン抵抗性改善剤、チアゾリジン系薬/スルホニルウレア系薬配合剤、チアゾリジン系薬/ビグアナイド系薬配合剤－2型糖尿病治療剤－＞

【重大な副作用】

間質性肺炎があらわれることがあるので、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線、胸部 CT、血清マーカー等の検査実施。異常が認められた場合には、投与を中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置。

※間質性肺炎：7例（うち死亡0例）（平成19年4月1日～平成23年1月27日）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）

効能・効果追加、用法・用量変更等のお知らせ

★ジャヌビア錠 50mg・100mg、グラクティブ錠 25mg（一般名：シタグリプチンリン酸塩水和物）＜選択的 DPP-4 阻害剤＞

【効能・効果】2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。

⑤食事療法、運動療法に加えて α-グルコシダーゼ阻害剤を使用

★抗 D 人免疫グロブリン筋注用 1000 倍「ベネシス」（一般名：乾燥抗 D(Rho)人免疫グロブリン）＜血漿分画製剤＞

【効能・効果】D (Rho) 陰性で以前に D (Rho) 因子で感作を受けていない女性に対し、以下の場合に投与することにより、D (Rho) 因子による感作を抑制する。

- ・分娩後、流産後、人工妊娠中絶後、異所性妊娠後、妊娠中の検査・処置後（羊水穿刺、胎位外回転術等）又は腹部打撲後等の D (Rho) 感作の可能性がある場合
- ・妊娠 28 週前後。

【用法・用量】本剤は、1 バイアルを添付溶剤（日本薬局方 注射用水）2mL に溶解し、効能・効果に応じて以下のとおり投与。

- ・分娩後、流産後、人工妊娠中絶後、異所性妊娠後、妊娠中の検査・処置後又は腹部打撲後：72 時間以内に 1 バイアルを筋肉内に注射
- ・妊娠 28 週前後：1 バイアルを筋肉内に注射

★ホスカビル注 24mg/mL（一般名：ホスカルネットナトリウム水和物）＜抗ウイルス化学療法剤＞（緊急購入医薬品）

【効能・効果】血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス血症及びサイトメガロウイルス感染症。

【用法・用量】1. 初期療法：1 回 60mg/kg を 1 時間以上かけて 12 時間ごと 1 日 2 回点滴静注。1～2 週間以上行う。

2. 維持療法：1 回 90～120mg/kg を 2 時間以上かけて 1 日 1 回点滴静注。維持療法中に再発が認められた場合は、初期療法の用法・用量により再投与可。

★ノバスタン HI 注 10mg/2mL（一般名：アルガトロバン水和物）＜選択的抗トロンピン剤＞

【効能・効果】下記患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析）

ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）Ⅱ型患者

※ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）Ⅱ型（発症リスクのある場合を含む）における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止

【用法・用量】上記 ※：適当量の輸液で希釈し、0.1mg/kg を 3～5 分かけて静注し、術後 4 時間まで 6 μg/kg/分を目安に持続静注。その後抗凝固療法の継続が必要な場合、0.7 μg/kg/分に減量し持続静注。持続投与量は、凝固能のモニタリングにより適宜調節。

**★リュープリン注射用 1.88・(一般名:リュープロレリン酢酸塩) < LH-RH(黄体形成ホルモン放出ホルモン)誘導体
マイクロカプセル型徐放性製剤> (緊急購入医薬品)**

【用法・用量】 中枢性思春期早発症の場合: 症状に応じて $180 \mu\text{g}/\text{kg}$ まで増量可。

★メインテート錠 5(一般名:ピソプロロールフマル酸塩) < 選択的 β_1 アнтаゴニスト >

【効能・効果】 次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン II 受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者
虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全

【用法・用量】 1日1回 0.625mg から開始。2週間以上投与し、忍容性がある場合、1日1回 1.25mg に増量。その後忍容性がある場合は、4週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量、忍容性がない場合は減量。用量の増減は、1回投与量を 0.625、1.25、2.5、3.75 又は 5mg として必ず段階的に行い、いずれも1日1回投与。維持量 1.25~5mg。反応性により適宜増減。開始用量、増量幅適宜減。最高1日 5mg。

★エプトール 250 mg錠(一般名:エタンプトール塩酸塩) < エタンプトール製剤 >

【効能・効果】 < 適応菌種 > 本剤に感性のマイコバクテリウム属
< 適応症 > マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス (MAC) 症を含む非結核性抗酸菌症

【用法・用量】 [MAC 症を含む非結核性抗酸菌症] 0.5~0.75g を1日1回。適宜増減。最高1日 1g。

**★デパケン R 錠 100・200、同シロップ 5%、セレニカ R 錠 200mg、同顆粒 40% (一般名:パルプロ酸ナトリウム)
< 抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤、片頭痛治療剤 >**

【効能・効果】 片頭痛発作の発症抑制

【用法・用量】 400~800mg を1~2回 (シロップ 5% は2~3回) に分服。適宜増減。最高1日 1000mg。

★グラニセトロン静注液 3mg「NK」バッグ(一般名:グラニセトロン塩酸塩) < 5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤 >

【効能・効果】 造血幹細胞移植前処置時の放射線全身照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

【用法・用量】 1回 $40 \mu\text{g}/\text{kg}$ を点滴静注。適宜増減。最高1日 2回。

インフルエンザワクチン「北里第一三共」の供給について

東日本大震災の影響により今シーズンにおけるインフルエンザワクチン「北里第一三共」の生産供給予定は、1mL バイアル製剤が昨年の約半量の生産、0.5mL バイアル製剤が生産見合わせ、0.5mL シリンジ製剤は、昨年並みの供給となっています。御注意下さい。

「ハーセプチン注射用」仕様変更のお知らせ

**★ハーセプチン注射用 60・150(一般名:トラスツマブ(遺伝子組換え)) < 抗 HER2 ヒト化モノクローナル抗体
抗悪性腫瘍剤 >**

東日本大震災の影響により、添付希釈液(生理食塩液 250 mL)の供給が困難になったため、添付希釈液がない仕様品へ7月1日より変更します。

※7月1日より希釈液(生食 250 mL)のオーダーが必要となります。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成 23 年 6 月 1 日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品 19 品目、剤形・規格追加医薬品 6 品目、切り替え医薬品 4 品目、削除医薬品 12 品目が承認されました。詳細につきましては、紙面末に医薬品集の追補版とともに掲載しています。

適正使用情報

★タキソール注射液 30mg・100mg、パルクタキセル注 30mg/5mL「NK」・100mg/16.7mL「NK」(一般名:パクリタキセル)

<抗悪性腫瘍剤>

[調整時の留意点]

調製時に、バイアル及びシリンジ内に微小な灰色～黒色の不溶物が認められたとの報告を受け、製造販売元が調査を実施した結果、バイアルから薬液を採取する際に、バイアルゴム栓に穿刺した注射針等に塗布されているシリコン油に由来する不溶物であることが判明。本件に起因したとされる健康被害は報告されていない。

[不溶物の例]



[使用に際しての注意]

- バイアルゴム栓に刺入した注射針の上下運動の繰り返しが不溶物発生の原因のため、上下運動の回数を減らす。
- 「用法・用量に関連する使用上の注意」には、「本剤投与時には、0.22 ミクロン以下のメンブレンフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。」が記載されている。このインラインフィルターは、不溶物の除去にも有効なので、使用する。
- 薬液採取後、バイアル内及びシリンジ内薬液中の不溶物の有無を目視により確認し、不溶物を認めた場合は、使用しない。

★エプトール 125・250 mg錠(一般名:エタンプトール塩酸塩)<エタンプトール製剤>

副作用として視神経障害による視力低下、中心暗点、視野狭窄、色覚異常等の視力障害があらわれることがある。視力低下の発見が遅れ視力障害が高度に進行した場合には、その回復に長期間を要するか、あるいはまれに非可逆性の視力障害に発展する可能性があるとして報告されている。エタンプトール製剤を使用する場合は、下記に示すような方法により早期に視力異常を発見し、副作用の発現を未然に防止すること

具体的方法

(1) 本剤の投与に際しては、次の点を患者に十分徹底すること。

- ・本剤の投与により、ときに視力障害があらわれること。
- ・この視力障害は、早期に発見し、投与を中止すれば可逆的であること。
- ・この視力障害は、新聞を片眼ずつ一定の距離で毎朝読むことによって、早期に発見できること。
- ・視力の異常に気づいたときは、直ちに主治医に申し出ること。

(2) 投与開始前に、あらかじめ少なくとも視力検査及び外眼検査を実施すること。

開始前の検査で白内障・視神経炎等の異常が認められた場合には、適当な処置を講じてから、投与。定期的に眼の検査を行い、異常が認められた場合は、投与中止、精密な検査。

(3) 高齢者に投与する場合には、視力検査を特に慎重に行うこと。

包装変更等のお知らせ

★リピディルカプセル 100(一般名:フェノフィブラート)＜高脂血症治療剤＞

	変更前		変更後
PTP シート デザイン		→	

★プラビックス錠 25・75mg(一般名:クロピドグレル硫酸塩)＜抗血小板剤＞

	変更前		変更後
「Sa75」の色調	 川越工場旧	→	 川越工場新  海外工場

★アミカマシ注射液 100mg(一般名:アミカシン硫酸塩)＜アミノグリコシド系抗生剤製剤＞

	変更前		変更後
ラベルの色調	 薄緑色に紺色文字、 橙色のライン	→	 薄緑色に黒色文字、 緑色のライン

★大塚生食注 50・100・250mL プラボトル入り、糖液 5%50・100 mL プラボトル入り(一般名:生理食塩液、ブドウ糖液)＜電解質液、糖類剤＞※機能性、針刺し時使用感は、従来品と変わりありません。

	変更前		変更後
針刺し部のゴム 栓厚み・材質	厚さ 4.2mm	→	厚さ 5.7mm

★アナペイン注 2mg/mL・7.5mg/mL(一般名:ロピバカイン塩酸塩水和物)＜長時間作用性局所麻酔剤＞

	変更前		変更後
アンプル デザイン		→	
ブリスター ペーパー		→	

★マーカイン注脊麻用 0.5%等比重・0.5%高比重(一般名:ピバカイン塩酸塩水和物)＜脊椎麻酔剤＞

	変更前		変更後
アンプル デザイン		→	

ニューキノロン系

レボフロキサシン水和物 levofloxacin hydrate (LVFX)

★クラビット Cravit	第一三共
	コード 薬価
点滴静注:500mg/100mL/バッグ [クラビ61]	5,326

【用】1日1回500mg、約60分間かけて点滴静注

【禁】本剤成分又はオフロキサシン過敏症 [炭疽など重篤な疾患に限り有益性投与]妊娠又はその可能性のある婦人 小児等

【重大な副作用】 ショック アナフィラキシー様症状
中毒性表皮壊死融解症 皮膚粘膜眼症候群 痙攣
QT延長 急性腎不全 間質性腎炎 劇症肝炎 肝機能障害 黄疸 汎血球減少症 無顆粒球症 溶血性貧血 血小板減少 間質性肺炎 好酸球性肺炎 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 横紋筋融解症 低血糖 精神症状 腱障害 過敏性血管炎 重症筋無力症悪化

抗ウイルス剤

バルガンシクロビル塩酸塩 valganciclovir hydrochloride

★バリキサ Valixa

田辺三菱

コード 薬価

錠〔毒〕:450mg

[ハリキ01] 2,942.9

【効】次におけるサイトメガロウイルス感染症:後天性免疫不全症候群、臓器移植(造血幹細胞移植も含む)、悪性腫瘍

【用】初期治療:1回 900mg1日 2回食後 維持治療:1回 900mg1日 1回食後

【警】重篤な白血球減少、好中球減少、貧血、血小板減少、汎血球減少、再生不良性貧血及び骨髓抑制があらわれるので頻回に血液学的検査を行うなど、十分観察、慎重投与 一時的又は不可逆的な精子形成機能障害、妊孕性低下、催奇形性、遺伝毒性及び発がん性が報告 患者に説明し慎重投与

【禁】好中球数 $500/\text{mm}^3$ 未満又は血小板数 $25,000/\text{mm}^3$ 未満等、著しい骨髓抑制 バルガンシクロビル、ガンシクロビル又は本剤成分、化学構造が類似する化合物過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】骨髓抑制 汎血球減少 再生不良性

貧血 白血球減少 好中球減少 貧血 血小板減少 血小板減少に伴う重篤な出血(消化管出血を含む) 腎不全 膵炎 深在性血栓性静脈炎 痙攣 精神病性障害 幻覚 錯乱 激越 昏睡 敗血症等の骨髓障害及び免疫系障害に関連する感染症

その他の抗腫瘍剤

ボルテゾミブ bortezomib

★ベルケイド Velcade

ヤンセン

コード 薬価

注射用〔毒〕:3mg/V

[ヘルケ 61] 164,934

【効】再発又は難治性の多発性骨髄腫

【用】1日1回 1.3mg/m²を週2回、2週間静注後、10日間休薬 3週間を1サイクルとし投与を繰り返す
最低 72 時間空けて投与 8 サイクルを超えて継続投与する場合、上記の用法・用量で継続するか、維持療法として週1回、4週間投与後、13日間休薬 5週間を1サイクルとし投与を繰り返す

【警】緊急時に十分対応できる医療施設で、十分な知識・経験を持つ医師のもと、適切症例のみに行う有効性・危険性を十分説明し、同意を得てから投与
治療初期は入院環境で医師管理下にて適切な処置 国内臨床試験にて、因果関係否定できない肺障害による死亡例あり 海外ではまれであるが、国内ではより高頻度に発生する可能性があるため、特に以下の事項に十分注意 治療開始にあたり、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等を実施し、異常を確認した上で、治療開始の可否を慎重に判断 治療

中及び治療後、特に治療開始後早期は、息切れ、呼吸困難、咳、発熱等の自覚症状や、胸部聴診所見、呼吸数等での異常の有無を慎重に観察 必要に応じて動脈血酸素飽和度や胸部 CT 検査等を適切に実施し、経過観察 肺障害が疑われた場合、投与中止も含め適切な処置 添付文書等熟読

【禁】ボルテゾミブ、マンニトール又はホウ素過敏症

【重大な副作用】肺障害 心障害 末梢性ニューロパシー イレウス 好中球減少症 好中球数減少 貧血 血小板減少症 血小板数減少 低血圧 腫瘍崩壊症候群 皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症 発熱 可逆性後白質脳症症候群

抗アレルギー剤

オロパタジン塩酸塩 olopatadine HCl

★アレロック Allelock 協和発酵キリン
 コード 薬価
 OD錠:5mg [アレロ02] 63.9

【効】アレルギー性鼻炎 蕁麻疹 皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、[成人のみ]痒疹、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑)

【用】1回5mgを1日2回朝、就寝前 ([成人のみ]適宜増減)

【禁】本剤成分過敏症

【重要な副作用】劇症肝炎 肝機能障害 黄疸

【備考】選択的ヒスタミンH₁受容体拮抗作用 7歳以上の小児適応あり

中毒治療剤

デフェラシロクス deferasirox

★エクジェイド Exjade ノバルティス
 コード 薬価
 懸濁用錠[劇]:125mg [エクシ01] 1,161.6

【効】輸血による慢性鉄過剰症(注射用鉄キレート剤治療が不適當な場合)

【用】20mg/kgを1日1回 水100mL以上で用時懸濁し空腹時投与(適宜増減) 1日量30mg/kgまで

【警】重篤な肝障害、腎障害、胃腸出血を発現し死亡に至った例あり 投与開始前、投与中は定期的に血清トランスアミナーゼや血清クレアチニン等の血液検査を行うこと これら副作用は、特に高齢者、高リスク骨髄異形成症候群、肝障害、腎障害、血小板数50,000/mm³未満の患者で認められる

【禁】本剤成分過敏症 高度腎機能障害 全身状態の悪い高リスク骨髄異形成症候群、悪性腫瘍患者

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 急性腎不全 腎尿細管障害 肝炎 肝不全 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 胃腸出血 皮膚粘膜眼症候群 多形紅斑 聴力障害 水晶体混濁 視神経炎

【備考】鉄キレート剤

糖尿病治療剤 経口血糖降下剤

メトホルミン塩酸塩 metformin hydrochloride

★メトグルコ Metgluco 大日本住友

コード 薬価

錠〔劇〕:250mg [メク01] 9.9

【効】2 型糖尿病(次の治療で効果が得られない場合

①;食事療法・運動療法 ②;①+SU 剤)

【用】1 日量 500mg から開始 1 日 2～3 回食直前又は

食後に分服 維持量 1 日 750～1500mg(適宜増減)

1 日最高投与量 2250mg

【警】重篤な乳酸アシドーシスを起こすことがある 乳

酸アシドーシスを起こしやすい患者には投与しない

腎機能・肝機能障害のある患者、高齢者に投与す

る場合は、定期的に腎機能や肝機能を確認するな

ど慎重投与

【禁】乳酸アシドーシスの既往 中等度以上の腎機能

障害 透析患者(腹膜透析を含む) 重度の肝機能

障害 心血管系、肺機能に高度の障害 低酸素血

症 過度のアルコール摂取者 脱水症、脱水状態

が懸念される下痢、嘔吐等の胃腸障害 重症ケト

ーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 1 型糖尿病 重

症感染症 手術前後 重篤な外傷 栄養不良状態

飢餓状態 衰弱状態 脳下垂体機能不全又は副腎
機能不全 妊婦又はその可能性のある婦人 本剤
成分又はビグアナイド系薬剤過敏症

【重大な副作用】乳酸アシドーシス 低血糖 肝機能
障害 黄疸

糖尿病治療剤

エキセナチド exenatide

★**バイエッタ** Byetta

イーライリリー

コード	薬価
[ハイエ 61]	9,661
[ハイエ 62]	9,661

皮下注〔劇〕:5 μ g^へン 300

[ハイエ 61]

9,661

皮下注〔劇〕:10 μ g^へン 300

[ハイエ 62]

9,661

【効】2型糖尿病(食事療法・運動療法+SU剤で効果が得られない場合)

【用】1回5 μ gを1日2回朝夕食前に皮下注 1ヵ月以上後、1回10 μ gを1日2回に増量可

【禁】本剤成分過敏症 糖尿病性ケトアシドーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 1型糖尿病 重症感染症、手術等の緊急の場合 透析患者を含む重度腎機能障害

【重大な副作用】低血糖 腎不全 急性膵炎 アナフィラキシー反応 血管浮腫

抗凝血剤

ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩

dabigatran etexilate methanesulfonate

★**プラザキサ** Prazaxa

ベーリンガー

コード	薬価
[フラサ 01]	132.6
[フラサ 02]	232.7

Cap:75mg

[フラサ 01]

132.6

Cap:110mg

[フラサ 02]

232.7

【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

【用】1回150mgを1日2回 必要に応じ1回110mgへ減量

【禁】本剤成分過敏症 透析患者を含む高度腎障害 (CLcr30mL/min未満) 出血症状 出血性素因 止血障害 臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変(6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む) 脊椎・硬膜外カテーテル留置及び抜去後1時間以内 イトラコナゾール(経口剤)

【重大な副作用】出血

血球減少予防・治療剤

ダルベポエチン α (遺伝子組換え)

darbepoetin alfa(genetical recombination)

★ネस्प Nesp

協和発酵キリン

コード 薬価

注射液[劇]:120 μ g/0.6mL プラシリンジ[ネスフ 64] 24,865

注射液[劇]:180 μ g/0.9mL プラシリンジ[ネスフ 65] 35,343

【効】腎性貧血

【用】<血液透析患者>初回用量:週1回20 μ g 静注
 エリスロポエチン製剤からの切替えの場合、週1回
 15~60 μ g 維持用量:週1回15~60 μ g 週1回
 で維持されている場合、その時点での1回投与量
 の2倍量を開始用量とし2週に1回30~120 μ gへ
 変更可 <腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病
 患者>初回用量:2週に1回30 μ g 皮下又は静注
 エリスロポエチン製剤からの切替えの場合、2週に1
 回30~120 μ g 維持用量:2週に1回30~120 μ g
 2週に1回で維持されている場合、その時点での1
 回投与量の2倍量を開始用量とし4週に1回60~
 180 μ gへ変更可 (適宜増減) 最高投与量1回
 180 μ g

【禁】本剤成分又はエリスロポエチン製剤過敏症

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 高
 血圧性脳症 脳出血 脳梗塞 心筋梗塞 肺梗塞
 肝機能障害 黄疸 赤芽球癆

【備考】持続型赤血球造血刺激因子製剤

その他のリウマチ・関節症治療剤

アバタセプト(遺伝子組換え)

abatacept (genetical recombination)

★オレンシア Orencia

ブリストルマイヤーズ
コード 薬価

点滴静注用〔劇〕:250mg/V [オレン 61] 53,467

【効】関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合)

【用】以下用量を 1 回投与量とし点滴静注 初回投与後、2 週、4 週に投与し以後 4 週間間隔で投与(60kg 未満:500mg、60kg 以上 100kg 以下:750mg、100kg を超える:1g)

【警】重篤な感染症等があらわれ、致命的な感染症が報告されているため、十分観察など注意 関連性は明らかではないが、悪性腫瘍発現の報告あり 疾病を完治させる薬剤でないことも含め、十分説明、理解の上で有益性投与 重篤な副作用により、致命的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び医師のもとで投与、投与後に副作用が発現した場合は担当医に連絡 少なくとも 1 剤の抗リウマチ薬の使用を十分勘案 十分な知識・治療経験をもつ医師が使用

【禁】本剤成分過敏症 重篤感染症

【重大な副作用】重篤な感染症 重篤な過敏症 間質性肺炎

【備考】T 細胞選択的共刺激調節剤

その他の中枢神経系用薬

ガランタミン臭化水素酸塩 galantamine hydrobromide

★レミニール Reminyl	ヤンセン
	コード 薬価
錠〔劇〕:4mg	[レミニ 01] 119.6
錠〔劇〕:8mg	[レミニ 02] 213.8

【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

【用】1日 8mg から開始、4週間後に1日 16mg に増量
2回に分服 1日 24mg まで増量可(変更前の用量
で4週間以上投与後に増量)

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】失神 徐脈 心ブロック QT延長 肝炎

鎮咳・喘息治療剤 吸入用ステロイド剤

シクレソニド ciclesonide

★オルベスコ Alvesco	帝人
	コード 薬価
100 μ g インヘラー 112 吸入用:11.2mg/本[オルベ 42]	2,265.6

【効】気管支喘息

【用】100~400 μ g を1日1回吸入 (適宜増減) 1日
最大量800 μ g(その場合は朝、夜の1日2回) [小
児]100~200 μ g 50 μ g まで減量可

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌
症 本剤成分過敏症

【原禁】結核性疾患

【備考】プロドラッグ

潰瘍治療剤 プロトンポンプ阻害剤

ランソプラゾール lansoprazole

★**タケプロン** Takepron

武田

コード

薬価

静注用:30mg/V

[タケフ 61]

572

【効】経口投与不可能な次の疾患:出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍及び急性胃粘膜病変

【用】1回 30mgを1日2回点滴静注又は緩徐に静注

【禁】本剤成分過敏症 アタザナビル硫酸塩

【重大な副作用】アナフィラキシー反応 ショック 汎血球減少 無顆粒球症 溶血性貧血 顆粒球減少 血小板減少 貧血 重篤な肝機能障害 中毒性表皮壊死症 皮膚粘膜眼症候群 間質性肺炎 間質性腎炎

緑内障治療剤

ドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩

dorzolamide hydrochloride/timolol maleate

★**コソプト** Cosopt

参天

コード

薬価

配合点眼液:5mL

[コソフ 41]

3,340

【効】他の緑内障治療薬が効果不十分な緑内障、高眼圧症

【用】1回1滴、1日2回点眼

【禁】気管支喘息 気管支痙攣 重篤な慢性閉塞性肺疾患 コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(II、III度)、心原性ショック 本剤成分過敏症 重篤な腎障害

【重大な副作用】眼類天疱瘡 気管支痙攣 呼吸困難 呼吸不全 心ブロック うっ血性心不全 脳虚血 心停止 脳血管障害 全身性エリテマトーデス 皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症

【備考】1mL中:ドルゾラミド 10mg/チモロール 5mg

緑内障治療剤

ラタノプロスト/チモロールマレイン酸塩

latanoprost/timolol maleate

★ザラカム Xalacom

ファイザー

コード 薬価

配合点眼液:2.5mL

[サラカ 41] 3,265

【効】緑内障、高眼圧症

【用】1回1滴、1日1回点眼

【禁】気管支喘息又はその既往 気管支痙攣 重篤な慢性閉塞性肺疾患 コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ 度)、心原性ショック
本剤成分過敏症

【重大な副作用】虹彩色素沈着 眼類天疱瘡 気管支痙攣 呼吸困難 呼吸不全 心ブロック 心不全 心停止 脳虚血 脳血管障害 全身性エリテマトーデス

【備考】1mL:ラタノプロスト 50 μ g/チモロール 5mg

その他の点眼剤

ジクアホソルナトリウム diquafosol sodium

★ジクアス Diquas

点眼液 3%:5mL

コード
[シクア 41]

参天
薬価
623.4

【効】ドライアイ

【用】1回1滴、1日6回点眼

【禁】本剤成分過敏症

【備考】ムチン/水分分泌促進点眼剤

その他の泌尿器・生殖器・肛門用薬

コハク酸ソリフェナシン solifenacin succinate

★**ベシケア** Vesicare アステラス

	コード	薬価
OD錠:2.5mg	[ベシケ02]	113

【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

【用】1日1回5mg（適宜増減）1日最高投与量10mg

【禁】本剤成分過敏症 尿閉 閉塞隅角緑内障 幽門部・十二指腸・腸管閉塞及び麻痺性イレウス 胃・腸アトニー 重症筋無力症 重篤な心疾患 重度の肝機能障害

【重大な副作用】肝機能障害 尿閉 QT延長 心室頻拍 房室ブロック 洞不全症候群 高度徐脈

【備考】抗コリン膀胱選択性高い⇒口渇等の副作用少ない

非ステロイド性消炎鎮痛剤

ロキソプロフェンナトリウム水和物

loxoprofen sodium hydrate

★**ロキソニン** Loxonin 第一三共

	コード	薬価
ゲル1%:25g/本	[ロキソ43]	170

【効】次の疾患並びに症状の消炎・鎮痛：変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1日数回患部に塗擦

【禁】本剤成分過敏症 アスピリン喘息

血液製剤 その他の血液製剤

乾燥濃縮人アンチトロンビン III

concentrated human antithrombin III

★ノイアート Neuart

ベネシス

コード 薬価

静注用:1500 単位/V

[ノイア 63] 83,892

【効】(1)先天性アンチトロンビン III 欠乏に基づく血栓形成傾向 (2)アンチトロンビン III 低下を伴う汎発性血管内凝固症候群(DIC)

【用】緩徐に静注又は点滴静注 (1)1 日 1,000～3,000 単位(又は 20～60 単位/kg) (適宜減量) (2)アンチトロンビン III が正常の 70%以下に低下した場合は、ヘパリン持続点滴静注のもと 1 日 1,500 単位(又は 30 単位/kg) 産科的、外科的 DIC など緊急処置として使用する場合は 1 日 1 回 40～60 単位/kg (適宜増減)

【禁】本剤成分ショック

【原禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状

殺菌消毒剤

クロルヘキシジングルコン酸塩 chlorhexidine gluconate

★ヘキサック Hexizac

吉田

薬価

コード

AL 液 1%:250mL/瓶

[ヘキサ 41]

-

AL1%綿棒 12:

[ヘキサ 42]

-

【効】手指・皮膚の消毒

【用】洗浄後、1 日数回適量を塗布

【禁】クロルヘキシジン製剤過敏症 脳・脊髄・耳(内耳、中耳、外耳) 腔・膀胱・口腔等の粘膜面 損傷 皮膚及び粘膜 眼

【重大な副作用】ショック

【備考】[綿棒]クロルヘキシジンエタノール含浸綿棒

〔人工腎臓透析液〕

商 品 名	陽イオン mEq/L				陰イオン mEq/L			Glucose mg/dL	浸透圧	薬 価
	Na ⁺	K ⁺	Ca ⁺⁺	Mg ⁺⁺	Cl ⁻	CH ₃ COO ⁻	HCO ₃ ⁻			
★サブラッド血液ろ過用 補充液BSG (2020mL) Sublood-BSG 扶桑 液：A液 B液	140	2.0	3.5	1.0	111	0.5	35	100	浸透圧比 0.9~1	1,292
<p>【効】 透析型人工腎臓では治療の持続又は管理の困難な慢性腎不全例に対するろ過型又はろ過透析型人工腎臓使用時ならびに治療時間の短縮を目的とするろ過透析型人工腎臓使用時の補充液として使用</p> <p>【用】 A液及びB液を混合し、通常1回のろ過型人工腎臓治療では15~20Lを4~7時間で投与 透析型人工腎臓と併用する場合には、5~10Lを3~5時間で投与</p>										

新規常備医薬品 HF追補版 平成23年6月1日

1. 新規常備依頼医薬品 (合計 19 品目) 平成23年6月21日(火)よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
エケイト [®] 懸濁用	錠	125mg	1,161.60	ハルティス	Deferasirox ★経口鉄キレート剤（三価鉄とキレート形成）→体内に蓄積した鉄を胆汁を介して排泄 ★輸血による慢性鉄過剰症用薬 ★1日1回経口投与（従来の標準治療薬デスフェラル注では連日注射が必要）→コンプライアンス向上が期待できる ★水100mL以上に懸濁して服用 ★空腹時投与（食事により吸収増大のため） ★希少疾患用薬剤 【発売：2008.6.16】
アバシア点滴静注	注	250mg	53,467/V	フォルストルマイヤース	Abatacept(genetical recombination) 関節リウマチ治療剤 ★T細胞共刺激調節剤 ★新規作用機序、抗原提示細胞とT細胞間の共刺激シグナルを阻害→T細胞活性化を抑制 【発売：2010.9.21】
コソプト配合	点眼	(トルソラミト [®] 10mg/チモロール5mg)/1mL	3,340/本	参天	Dorzolamide/Timolol 緑内障・高眼圧症治療剤 ★炭酸脱水酵素阻害剤とβ遮断剤の合剤→単剤併用療法(1日5回点眼)より少ない点眼回数(1日2回) →コンプライアンスの向上 ★単剤併用薬価 ¥2,015/本モブートルXE0.5%点眼液 ¥1,452/本トルソプト1%点眼液 ¥127/本の経済性向上 【発売：2010.6.16】
サラム配合	点眼	(ラタノプロスト150μg/チモロール5mg)/1mL	3,265/本	ファイザー	Latanoprost/Timolol 緑内障・高眼圧症治療剤 ★プロスタグランジン系薬剤/β遮断剤の合剤→単剤併用療法(1日3回点眼)より少ない点眼回数(1日1回) →コンプライアンスの向上 ★単剤併用薬価 ¥2,015/本モブートルXE0.5%点眼液 ¥2,321/本ラタノプロスト0.005%点眼液 ¥1,071/本の経済性向上 【発売：2010.4.20】
ジクアソ3%	点眼	30mg/mL	623.4/本	参天	Diquafosol Sodium ドライアイ治療剤 ★新規作用機序P2Y2受容体作動点眼剤 ★ムシを含む涙液分泌促進→涙液の状態改善 ★ヒyalin点眼液0.1%と同等の角結膜上皮障害改善効果 【発売：2010.12.13】
ノイート静注用	注	1500単位	83,892	ベネクス	Freeze-dried Concentrated Human Antithrombin III 血液凝固阻止剤 ★従来品の乾燥加熱処理よりウイルス不活化効率の高い液状加熱処理を導入 ★従来品（献血ノスロン1500単位：84,564/V）より安価 【発売：2005.2.25】
ハエイッタ皮下注5・10μg [®]	注	300μg/キット	9,661/本	イーライリリ	Exenatide 2型糖尿病治療剤 ★GLP-1受容体アゴニスト製剤 ★SU剤、ヒグアナイド剤、チアゾリジン剤との併用可能 ★糖尿病進行患者に使用可能 ★プレフィルト製剤 ★自己注射可能 【発売：2010.12.17】
ハリキサ	錠	450mg	2,942	田辺三菱	Valganciclovir Hydrochloride 抗サイトメガウイルス化学療法剤 ★DNAポリメラーゼ阻害剤 ★プロドラッグ（ガンシクロビル(デノシン)のL-バリンエステル誘導体）→吸収率はガンシクロビルの約10倍増大 ★経口剤（末梢ルート確保困難患者に使用可能） 【発売：2004.11.25】

ビュアビソング	外用液	60mL/本	—	ジョンソン トジョンソン	携帯用手指消毒剤Ethanol ★精神科病棟では病室の手洗い、手指消毒剤の設置不能(患者誤飲のため)のため、携帯用手指消毒剤必要 ※感染制御室確認済 【発売：2007.11.19】
ブラサキサ	Cap	75mg 110mg	132.6 232.7	ヘーリンガ ーイ ンゲル ハイム	Dabigatran Etexilate Methanesulfonate 直接トロン阻害剤 ★非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ★非ペプチド性経口トロン阻害剤 ★血液凝固能モニタリング不要 ★VKとの相互作用無し ★ワーファリンに対する臨床的有用性あり 【発売：2011.3.14】
ヘキサックAL液1%	外用液	250mL	—	ヨシダ製薬	皮膚消毒剤 Chlorhexidine gluconate ★カテーテル挿入部位消毒はCDCガイドラインにおいて2%カルヘキシジン推奨→日本では1%カルヘキシジンが最も高濃度製品 ★2%カルヘキシジンは10%ホルピドニョード製剤と比較して高い感染合併抑制効果 ※感染制御室確認済 【発売：2006.12.1】
ヘキサックAL1%綿棒12	外用	—	—	ヨシダ製薬	★2%カルヘキシジンは10%ホルピドニョード製剤と比較して高い感染合併抑制効果 ※感染制御室確認済 【発売：2006.12.1】
ベルケイト注射用	注	3mg	164,934	ヤンセンファーマ	Bortezomib 再発又は難治性の多発性骨髄腫治療剤 ★プロテアソーム(細胞周期を制御する蛋白質等を分解する酵素複合体)阻害剤 ★海外第3層試験においてデキサメタゾン大量療法と比較して奏効率43%、18%、TTP78%延長、1年間の死亡率が41%減少と有意に優れた成績 ★希少疾患用薬剤 ★全症例使用成績調査 【発売：2006.12.1】
メトグルコ	錠	250mg	9.9	大日本住友	Metformin Hydrochloride ビッグアナイト系経口血糖降下剤 ★1日最高投与量2,250mg→従来製剤より厳格なHbA1cコントロール可能 ★UKPDS34・80のビデンスから大血管障害イベント発症低減期待 【発売：2010.5.10】
レミニール	錠	4mg 8mg	119.6 213.8	ヤンセンファーマ	Galantamine Hydrobromide アルツハイマー型認知症治療剤 ★AChE阻害作用→脳内ACh濃度上昇→認知症症状の進行抑制 ★アロステリック増強作用→AChによるnAChRの活性化を増強→高い認知機能維持効果 【発売：2011.3.22】
ワシヨットプラスEL-II	外用	100包/箱	—	白十字	消毒用アルコール綿Ethanol ★侵襲的な処置の際、皮膚や医療器具の消毒に使用するため、安全性を保証された医薬品が必要 ★外袋のまま2分割使用可 【発売：2003.11.】

2. 剤形・規格追加医薬品 (合計6品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
イミグランスターターパック	—	—	—	GSK	イミグラン皮下注射用注入器
クレビット点滴静注パック500mg	注	500mg/パック	5,326	第一三共	Levofloxacin Hydrate ニューキノロン系注射用抗菌製剤 ★呼吸器感染症起炎菌となるグラム陽性・陰性菌及びβラクタム系薬では治療不可能な非定型病原菌に対して有効 ★1日1回の注射用レスピラトリキノロン薬 【発売：2011.1.11】
タゾロン静注用	注	30mg	572	武田	Lansoprazole プロトンポンプインヒビター ★PPIの注射剤 ★CYP2C19の遺伝子型の違い関わらず使用可能 【発売：2006.12.7】

ネスフ®注射液フラシリンジ	注	120µg 180µg	24,865 35,343	協和発酵キリン	Darbepoetin α (Genetical Recombination) 持続型赤血球造血刺激因子製剤 ★血中半減期延長(エポエチンアルファの約3倍)、少ない投与頻度で貧血改善効果 ★薬剤投与回数減少(腹膜透析及び保存気慢性腎不全患者は4週に1回投与可)により、薬剤投与時のエラーの軽減 ★プレフィルドシリンジ製剤のため、清潔、調製簡便、調製時間短縮、操作時の針刺し事故防止可能 ★皮下・静注共に投与可能 ★がイトラインに沿った治療可能 【発売：2010.8.26】
ロキソニンゲル1%	軟膏	25g/本	6.8/g	第一三共	Loxoprofen SodiumHydrate 経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤 ★1日1回貼付のロキソパップと生物学的に同等 ★他剤と比較して少ない光線過敏症 ★刺激臭が少なく患部に伸ばししやすい経済性に優れたゲル剤 【発売：2010.10.5】

3. 切り替え医薬品 (合計 4 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アロックOD	錠	5mg	63.9	協和発酵キリン	Olopatadine Hydrochloride アレルギー性疾患治療剤 ★口腔内崩壊錠→嚥下困難患者の服薬コンプライアンスやQOLの向上 ★従来のアロック錠と同薬価 【発売：2010.11.25】
オルベスコ100µgインヘaler112吸入用	吸入	11.2mg/本	2,265.6/本	帝人	Ciclesonide 吸入ステロイド喘息治療剤 ★定量噴霧式エアゾール剤 ★プロドラッグ →肺でエステルゼにより分解され活性代謝物へ変換 ★口腔内で活性代謝物に変換され難いため局所性副作用(口腔・咽頭部カンタ症)のリスク軽減 ★脂肪酸抱合体形成により肺組織に滞留→1日1回で有効 【発売：2007.6.8】
サブラット血液ろ過用補充液BSG	透析液	2020mL	1,292	扶桑	ろ過型人工腎臓用補液 ★抹消血管拡張作用、心機能抑制作用を示す酢酸濃度が低い→透析時の血圧の安定化 ★隔壁未開通防止製剤 【発売：2009.5.15】
アシケアOD	錠	2.5mg	113	アステラス	Solifenacin 過活動膀胱治療薬(抗コリン薬) ★膀胱選択性が高い →従来薬より口内乾燥症等の副作用少なく投与継続率高い ★口腔内崩壊錠→水無で服用可 【発売：2011.4.20】

4. 削除医薬品 (合計 12 品目)

商品名	剤	規格	削除理由
1%サンビロ点眼液	点眼	5mL	コソト配合点眼液採用の場合、削除
ムコゾーム点眼液0.5%	点眼	5mL	ジクアス3%点眼液採用の場合、削除
エスポー皮下用シリンジ	注	6000U/本	ネスフ注射液フラシリンジ120・180µg採用の場合、削除
献血ノスロン注射用	注	1500単位	ノアート静注用1500単位採用の場合、削除
グリコラン	錠	250mg	メグルコ錠250mg採用の場合、削除
サニコットデスイnP			ワンショットプラス採用の場合、削除
ザンタック	注	100mg	タケブロン静注用30mg採用の場合、削除
ナハゲル3%	軟膏	25g/本	ロキソニンゲル25g採用の場合、削除
アロック	錠	5mg	アロックOD錠5mg採用の場合、削除
オルベスコ200µgインヘaler-56吸入用	吸入	11.2mg/本	オルベスコ100µgインヘaler-112吸入用採用の場合、削除
サブラット血液ろ過用補充液BSG	透析液	2020mL	サブラット血液ろ過用補充液BS2020mL採用の場合、削除
アシケア	錠	2.5mg	アシケアOD錠2.5mg採用の場合、削除